

おのころ

第31号

2021年2月11日発行

発行所 南あわじ市商工会広報委員会
〒656-0474 兵庫県南あわじ市市299-2 TEL (0799) 42-4721 FAX (0799) 42-4689



ドライブインシアター in 慶野松原

11月3日(火)に慶野松原において、「ドライブインシアター in 慶野松原」を開催しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、地域のまつりやイベントが中止・延期になる中で、地域に活力を取り戻すきっかけにしようと、当商工会青年部が企画しました。

関連記事は P8 へ

南あわじ市の未来を語る ～10年後の将来の姿～

令和2年11月25日、南あわじ市役所会議室にて守本憲弘市長と森長義商工会長の対談を行った。新型コロナウイルス感染症施策展開の必要性や、デジタル化の推進、市内の産業振興などについて意見を交わし、南あわじ市の10年後の展望を語り合った。

司会者（杉本広報委員長）

本日は、「南あわじ市の未来を語る ～10年後の将来の姿～」をテーマとしまして、守本南あわじ市長様と森商工会長にご出席いただきまして対談をお届けしたいと思います。

南あわじ市を取り巻く経済環境の変化

森 アベノミクスで最低賃金が引き上げられ、観光産業も上向きになり、東京オリンピックの開催により人手不足が以前から叫ばれていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で状況は180度転換したと感じます。

多くの企業が大きな打撃を受け深刻な状況となりました。新型コロナウイルス感染症のワクチンが開発されるという話もありますが、すぐに元の状況に戻ることはなく3年程度の時間が必要であると感じております。また、元に戻ったとしても今まで通りの観光業や飲食業に戻るのではなく、今テイクアウトが人気になってきているように何らかの変化があるのではないかと考えています。

なかなか取り組まないまま高齢化が進んでいるので取り組んでいけるのか、環境変化についていけるかというのが心配ではあります。

負の考え方もありませんが、今は国の支援（雇用調整助成金等）で、なんとか雇用を支えています。いったん落ち着くと雇用機会が失われ収入が減少し、消費が減り、いずれはデフレになり厳しい状態が続いていくのではないかと思います。それに加え、現在デジタル化、キャッシュレス化など言われていますが、それにも対応していかねばなりません。そのためには投資が必要ですが、すぐには結果に結びつくことではないと思います。淡路島の方はデジタル化、キャッシュレス化にはな

かなか取り組まないまま高齢化が進んでいるので取り組んでいけるのか、環境変化についていけるかというのが心配ではあります。

守本 今年、合併15周年を迎えました。合併した平成17年の人口は約54,000人でしたが、令和2年度は約47,200人と人口減少が進んでいます。一方で高齢化が着実に進み3人に1人が65歳以上といった状況です。日本全体から見ても20年ほど進んでいる状態で、日本の課題をやや先取りして経験をしている状況といえます。一方で良い面としては、高齢者の就業率の高さです。全国の「市」というレベルで見ると65歳の就業率は全国第2位と、高齢化しても元気に働いている方が多いという面では一つの心強い材料であります。そして淡路島の主力産業は、やはり食料、観光だと思うのですが、食料に関して言うとかなりブランド化が進んできています。昔に比べると、玉ねぎが全国的な知名度が上がってきていますし、新しい素材として三年とらふぐ、サクラマス、淡路ビーフが、京阪神ではかなり知名度が上がってきており、今後付加価値を高めていく要素があります。

観光に関して言えば、新型コロナウイルス感染症によってダメージを受けた部分もありますが、海外に行く人が減り、その代替の観光地として淡路島が選ばれていると感じています。満室状態になっている旅館やホテルが数多く見受けられ、これまで淡路島に來なかつたお客さんが來られるようになってきているという点では、新しい芽も出てきていると感じております。



南あわじ市商工会長
森 義 長



新談
対春



南あわじ市長
守本 憲弘

南あわじ市の将来の姿

杉本 将来南あわじ市がどうなっていくのか。暗い予測というのは非常にしやすいわけですが、やはり明るい南あわじ市を見据えて、これからの南あわじ市の将来の姿、10年後の姿を想定いただいております。

守本 南あわじ市の将来を考えるとときには、産業、生活の両方の面からみていく必要があります。産業面で言えば、食材をどうやって生かして発展させていくのか。私が着任した時から、島全体を美食の島にすると言ってきました。先日、淡路県民局の方との懇話会の中で、「御食プロジェクト」として料理人・シェフの人が糾合して、レベルアップを進めていくという話がありました。

今はいい食材を、取れたままの形で外に出していることが多いのですが、域内で加工してここを訪れたお客様に食べていただくといった流れになれば非常に付加価値が増し、それが観光にも繋がっていくと思います。現在、鳴門の渦潮の世界遺産を目指す動きがありますが、それとタイアップする形で、大鳴門橋の下に自転車道を作る構想が進んでいる、これもひとつの起爆剤になっていくと考えています。

訪れるお客様が増えれば、いろんな形での起業が増えてきます。現在でも移住してきて飲食店、民泊や農業をしたいといった人々が増えています。そういう方たちが活動しやすい姿を作ること、新しい若い方たちの力で産業を伸ばしていく事ができると考えています。

一方、生活面で言えば、高齢の方が増えるというのは疑いのない事実です。そういう方が住みやすい街を作ることが重要です。淡路島は公共交通が衰退し、人々の生活の足の確保が大きな課題としてあります。この部分をもう一度きちんと整備しなければなりません。加えて生活上必要ないろんな活動ができるだけ歩いてできる範囲で行えるような体制を作る。これは今、「どこでも市役所プロジェクト」

というネーミングで、各地域の市民交流センターで幅広い事務をできるようにしようと進めています。もうひとつは「デジタル化」というような形で自宅からでもいろんな申請ができる、これは全国的な動きとして進んでいくと思います。これらに取り組んでいくことで生活の利便性を維持していく必要があります。

そして、もう一つの課題は、子育て教育環境です。仕事に関して言えばテレワークが発達し、仕事は持ち込めるということになるのかもしれないですが、生活の場として南あわじ市を選ぶ、子供を連れて南あわじ市に来るといったような吸引力を強めるためには学校教育の質を高める必要があります。子育ての環境を整備すれば、若い方が定着し、産業基盤ができ、人口も安定していく。人口減少は避けられませんが、人口がどんどん流

出していく事態が避けられれば、減少のスピードを抑制することができます。

森 昔から言っていますが、淡路島全体を見ると、面積の割には人が分散しすぎています。ある程度、分散したものをもう少し集約できれば、インフラの投資効果もありますし、利便性もよくなります。守本市長が以前に仰っていました「コンパクトシティ化」、これは理想ですが実現できれば良いと思います。

それと今後10年を見据えたときに、生産性向上、効率化を進めなければならぬので、やはりデジタル化を進める必要があります。淡路島は大都市に近いわりに



は、自然があります。昔から言われていますが、貸し農園のようなことを大々的に行い、人に来てもらい品評会等を開いて楽しんでもらうというのでもいいと思います。最近淡路島にパソナが来ましたが、企業や人が来てもらえれば、人口減少は防ぐことが出来ます。新型コロナウイルス感染症の関係で今後いろんな新しい産業も出てくると思うので状況がどうなっていくのか常に見ていく必要があります。10年程度は、先の見通しが立てづらいますが、変化をいち早く捉えながら動いていく必要があります。

今、期待される

住民サービス・

商工会の役割について

杉本 3番目のテーマとして現在、期待されている市民サービス、または商工会が南あわじ市においてどのような役割があると考えますでしょうか。

森 商工会の役割は昔から変わらず会員のために金融相談、経営相談、経理や青色申告、労働保険のサポートなど、会員さんから相談があれば色々なアドバイスや申請手続きを行っています。いつも思っているのは、もう

少し事業計画書を書けるようになってほしいです。事業計画を描くには自分の会社がどういったカタチをしているのか、資産、負債、月々の売上、経費がそれぞれどれだけあって、どれだけ手元に残るのかをまずは把握してほしいです。これらは、申告書を見れば分かる事だと思いません。それを理解して、自社の将来を自分で予想していく必要があります。高度成長期であれば、そんなことを考えなくても一生懸命働いていけば儲けることが出来ましたが、コロナの後は景気が落ち込むと思うので、そういった意識を強く持ち、自分でコロナの先がどのようなものかを考えてもらいたいです。



興味深く対談に耳を傾けている様子

商工会としてお手伝いはできませんが、経営の方向性は経営者自身で考えていかないといけないと思います。変化を捉えながら新しいものを取り入れていく、デジタル化・キャッシュレス化であったりと、暫くは投資が必要ですが、先を見据えていかないとこれからは難しいと思います。

守本 今年は前例のない非常に大きな危機が来ました。そういう時に、各種団体、行政の力が試されるということだと思います。このたびの新型コロナウイルス感染症の経済対応という意味では、商工会と行政が非常に密接なタッグを組んで良い形を作れたと思います。例を挙げますと、1つは相談業務です。新型コロナウイルス感染症の問題が起ってきた当初から話をしていたのは、国・県が多く助成をするだろうからできるだけ多くの企業が、それをしっかりと受け止められるようにしてあげること。それで足りないところは、市や商工会が補っていくというような形で考えていました。相談業務を一緒に立ち上げさせていただけで非常に多くの方が相談に來られました。象徴的なものは、経産省の事業継続の交付金（持続化給付金等）だと思えますが、それかなり早期に申請され、安堵された事業者さんもたくさんおられた

と思います。

10万円の特別定額給付金は市民の不安心理をやわらげるためにもできるだけ早く配ろうということで、取り組んでまいりましたが、それと期を同じくして「ジモ得がんばろう南あわじキャンペーン」を開始しました。飲食店、観光関係のホテル、旅館は外からのお客さんは期待できないので、地元の人ができるだけ使っていたらこうということで開始させていただきました。商工会の皆さんにも大変なご尽力をいただいで、結果的には市内のほとんどの飲食店をカバーできるほどの参加を得て、非常に大きな経済効果をもたらしました。

8月からは「プレミアム商品券事業」が始まりました。当初、県が用意したのは個々の商店街の商品券だったのですが、商工会と行政が話をする中で、個別の商店街の商品券を作るよりも、市内全域をカバーできるようにしようということ、本来であれば商店街は10個あるのですが11番目の商店街を商工会で作って頂いて、全ての商店街に適用できる形で市内1本の商品券を作りました。これも非常に消化率が高くそれらがうまく機能したと感じています。それで十分でない部分はまだいろんな形で補っていくかなければなりません。これが、これまでの対策の成果という意味では存在意義を発揮してい

いただいたと思います。

経済が順調に推移していると
きには、行政も商工会もあまり
頼られないのかもしれないが、
危機が起こった時の支えという
意味ではそこに常に備えていく
必要があります。もうひとつ大
切なのは目指す方向性をはつき
り打ち出していくことです。事
業は各社ごとに自立してやってい
くにしても、共に目指していく
指針や目標があると動きやすく
なります。今後の産業の方向性、
取組の重点を置くべきところを
しっかりと示していくことが求め
られていると感じています。

守本市長、 森会長よりひとこと

杉本 商工会はここ数年にない
ぐらい、本年度の前期と後期を
通じまして、新しい企業、商店、
個人企業主の商工会への入会が
相次ぎました。これはここ数年
なかったことで、我々としまし
ても、森会長を筆頭に新しい会
員さんのご期待にそえるように、
取り組んでいきたいと思いま
す。
それでは、色々話をいただきま
したけれども、まとめとしまして
一言いただきたいと思います。

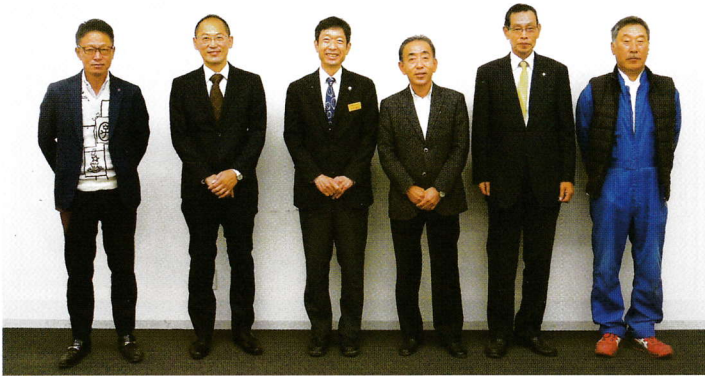
森 危機対応を前もって行うと
いう点では、この度の新型コロナ

ウイルス感染症でもありました
けれどもBCP（事業継続計
画）を作ることが重要だと思
います。この何年かは変化があ
ると思えます。どのような変化が
起こるのかをいち早く察し、会
員の皆さんには情報を流しなが
ら、新しい産業、淡路島独特の
産業が起こせるような方向にい
てもらえたらと思えます。まず
は相談してもらえないと何も始
まりません。もつと商工会を使
っていただけたらと思えます。

守本 南あわじは、いろいろな
課題はあるとは思いますが、ポ
テンシャルは非常にある地域で
す。私自身もそう思いますし、
いろんな方にもそうおっしゃっ
ていただきます。食に関して言
えば、たかだか20kmの面積で、食
べ物の種類としては何でもある
というような所は珍しいと思
います。そういった点に魅力を感じ
てくださる方も、最近増えて
いると感じています。ネガティブ
な面に関してはそれぞれ対処し
ていく必要があると思いま
す。ポジティブな面というのはも
つと思いつたビジョンを描いてい
くと思えます。「世界一の美食の
島を目指す、サンセバスチャン
構想」と私が言っているのは産業
の面でのビジョンといえます。
もうひとつ、ぜひ加えたいのは、

文化的な資産です。地域ごとにそ
れぞれ非常に個性の強いお祭りが
あり、また全体としても「人形浄
瑠璃」という世界に通用するよう
な資産があります。それらを活
かせるような枠組みを作っていくこ
とが行政の役割だと思えます。そ
ういうことがうまくいけば、ご高
齢の方ももちろん、若い方もど
んどん吸引していけるのではないか
と思えます。そういった多彩な人
たちが活躍していけるような地域
をつくっていただけたらと思いま
す。

杉本 本日はお忙しい中、ありが
とうございました。



当日参加の広報委員との一枚

マル経融資 (小規模事業者経営改善資金)

ご利用いただける方 商工会議所や商工会などの経営指導を6か月以上
受けている小規模事業者の商工業者が、経営改善に必要な資金を無担保・
無保証人でご利用できる制度です。

| 資金のお使いみち | 運転資金 | 設備資金 |
|-------------------|--|-----------------|
| 融資限度額 | 2,000万円 | |
| ご返済期間 (うち据置期間) | 7年以内 (1年以内) | 10年以内 (2年以内) |
| 利率(年) | 年1.21%(令和3年1月4日現在) | |
| 保証人・担保 | 保証人、担保は不要です。 ご利用にあたっては商工会議所会頭、 商工会会長等の推薦が必要です。 | |

新型コロナウイルス対応マル経 (小規模事業者経営改善資金)

ご利用いただける方 新型コロナウイルス感染症の影響により、最近1か月間等の
売上高または過去6か月(最近1か月を含みます。)の平均売上高が前3年のい
ずれかの年の同期と比較して5%以上減少しているまたはこれと同様の状況にある方。

| 資金のお使いみち | 運転資金 | 設備資金 |
|-------------------|--|-----------------|
| 融資限度額 | 別枠1,000万円 | |
| ご返済期間 (うち据置期間) | 7年以内 (3年以内) | 10年以内 (4年以内) |
| 利率(年) | 年1.21%(令和3年1月4日現在) 3年間は-0.9%(別枠の1,000万円以内)(注) | |
| 保証人・担保 | 保証人、担保は不要です。 | |

(注) 1 「特別利率F-0.9%」の適用限度額は、新型コロナウイルス感染症特別貸付にお
ける「基準利率-0.9%」の適用限度額に含まれます。
2 一部の対象者については、特別利率F-0.9%の部分に対して中小企業基盤整備
機構から利子補給を受けることにより、当初3年間で実質無利子となります。

商工会会員募集中!!

新会員のご紹介

REAL (リアル)

福良、鳴門タクシー横で、スナックをしています。

代表者名 納 里枝

住 所 南あわじ市福良甲512-43
サンハイツ102号室

電 話 090-9701-7195

営業時間 PM 7:30~



海鮮料理きとら (株きとらフードサービス)

淡路島近海でとれた海の幸をふんだんに使った海鮮料理をご満足頂けるよう、豊富なメニューをご用意しております。

代表者名 橋本 満仁

住 所 南あわじ市山添308-3

電 話 0799-44-3030 FAX 0799-44-3050

営業時間 ランチ 11:00~15:00

ディナー 17:00~22:00

定 休 日 年中無休

U R L <http://www.kaisenkitora.com>



miwa

淡路島の南あわじ市福良の美容室です。アットホームな地元のお店なので、なんでも相談してくださいね。

セット・着付も承ります。

代表者名 三輪 真紀

住 所 南あわじ市福良甲512-44

電 話 0799-52-1036

営業時間 9:00~19:00 (予約制)

定 休 日 火曜日、第3日曜日



もみほぐしリラクゼーション空間 shu-shu

全身もみほぐし、ドライヘッドスパ、フェイシャルケアを中心に一人一人心を込めて丁寧にサービスしています。癒しの空間へ是非お越しください!

代表者名 藤原 季実子

住 所 南あわじ市八木寺内1150-2 105号

電 話 080-8337-1717

営業時間 9:30~22:00 (予約状況で変更あり)

定 休 日 不定休

U R L ホームページ
<https://www.shu-shu.shop>



畔

おまかせコースが人気です。ご予約お待ちしております。

代表者名 前川 晋也

住 所 南あわじ市市

十一ヶ所10-47

電 話 0799-42-6030

F A X 0799-42-6030

営業時間 11:30~

17:00~

定 休 日 火曜日



SHIKON

企業様、団体様の大口ご予約・配達も承ります。

代表者名 中尾 広大

住 所 南あわじ市福良甲1327-6

営業時間 11:00 ~ 売り切れ次第終了

定 休 日 日・月曜日



オーダブルご予約承ります



GURUDOG × THE BAR infinity

2020年7月からチャレンジモール福良「CAP」でOPENさせていただきました。GURUDOG × THE BAR infinityです。ゴールデンポーク100%の特製ウインナーを使ったホットドッグをはじめ夜はBARとなります。地域発展のため頑張っていきますのでよろしくお願いたします。

代表者名 榎 邦和

住 所 南あわじ市福良甲1526-2福良CopC棟(101)

電 話 080-3105-7420

営業時間 11:00~17:00(昼) 19:00~0:00(夜)

定 休 日 水曜日



patisserie plus (パティスリープリュス)

未永く宜しくお願いします。

代表者名 田浦 直

住 所 南あわじ市市善光寺99-27

電 話 0799-20-5121

F A X 0799-20-5121

営業時間 11:00 ~ 18:00 (不定)

定 休 日 火曜、不定休

U R L Instagram @atissierie_plus



プレシャス・リリー美容室

「波止の浜公園」の向かいの小さな美容室です。一人で営んでいます。暖かいお客様に恵まれ、予約制でやらせてもらっています。

代表者名 西田 美揚子

住 所 南あわじ市福良乙513-4

電 話 0799-52-1322

F A X 0799-52-1322

営業時間 9:00~18:00

定 休 日 月曜日・第三日曜日他



WHIRL POOL (ワール プール)

築100年の古民家カフェにのんびりしにきてください。

代表者名 西澤 昌美

住 所 南あわじ市福良乙63

電 話 080-4002-9093

営業時間 土、日曜日

11:30 ~ 17:00

定 休 日 月~金曜日

U R L www.instagram.com/awajishima_whirlpool



淡路デジタルソリューション

ホームページ制作・SNS活用、YouTube活用等をお気軽にご相談ください。

代表者名 河西 泰佑

住所 南あわじ市志知500-2

電話 070-2792-6756

営業時間 9:00-18:00

定休日 土日祝日

URL <https://awaji-sol.com/>



RED WAGON(レッドワゴン)

福良でハンバーガー専門店をしております。淡路牛や淡路島の野菜を使ったジュースで食べ応えのあるハンバーガーをご用意しておりますのでぜひ、ご来店ください。

代表者名 村上 勇賢

住所 南あわじ市福良甲1526-2

電話 090-8219-0769

営業時間 昼11:00~16:00(ハンバーガー専門店)

夜20:00~24:00(bar)

定休日 火・水曜日



Sports Lab くぼ接骨院

はじめまして。医院長の久保と申します。島外で3年、帰郷して約4年修業し、この度開院する次第となりました。相生学院高校と言う全国でも有数の強豪校でトレーナーを2年間、務めた経験を活かして学生向けにパーソナルトレーニングもしております。よろしくお願ひします。

代表者名 久保 雄平

住所 南あわじ市市円行寺138

TSUTAYAシテオ三原店1階

電話 0799-53-6465 FAX 0799-53-6465

営業時間 AM8:00~12:00 PM14:00~20:00

定休日 木曜日、日曜日午後、月曜日午前



河西青果株式会社

土壌に納豆菌や有機肥料を使用し、苦みの少ない甘いレタスを生産しています。2021年2月からはサラダや揚げ物によく合う、万能ドレッシングを販売します。現在卸先を検討中ですので、興味があれば一度連絡下さい。

代表者名 河西 雅隆

住所 南あわじ市志知171-7

電話 0799-36-4831

FAX 0799-36-4831



事業報告

創業支援事業

～あわじもん創業塾～

これから創業を予定している方・今の事業を活かして新たなビジネスチャンスを見つけた方を対象とした「キックオフセミナー」を2020年7月と8月に2回、「あわじもん創業塾」を9月から10月にかけて全4回開催しました。

あわじもん創業塾はコロナの影響もあり募集定員を削減し20名で募集したところ40名を超える応募があり、急遽会場を商工会から複利公民館に変更し開催しました。

創業塾では、経営・販路開拓・財務・人材育成についての講義に加え、過去にあわじもん創業塾の受講者で創業された方との座談会を開催し、創業希望者の創業に対する意識を高めることができました。創業塾最終日には受講者が創業計画についてのビジネスプランの発表を行いました。

また事業計画書の作成指導や創業・経営に関する相談を個別に専門家が対応する個別相談会を開催しました。個別相談会では、主に事業計画書の作成や事業のブラッシュアップについての指導を行っていただきました。

今回の事業を通じて新たに淡路島内の事業者同士の連携事業や販路の開拓に繋がっていくことを期待しています。

※創業塾終了後も南あわじ市、地元金融機関、各種専門家、商工会職員が連携しながら随時相談に応じ、参加者の創業を長期間にわたって支援していく計画です。



◎令和2年度 商工会労働環境対策事業

従業員向けコミュニケーション力向上セミナー

令和2年9月～令和3年1月で継続企業9社、新規企業6社において(株)RAINBOW DREAM 細見先生



を講師として、前年度に引き続き企業を訪問して従業員向けコミュニケーション力向上セミナーを開催しました。

参加者数を1社5名以上で延べ90名の目標でしたが147名に参加いただきました。参加者から「自分のことを理解出来るきっかけになった」「伝えたと伝わったは違うを理解した」「自分の存在意味を見つけ自分から行動出来るようになりたい」等の前向きな回答がありました。

FABEX関西2020

淡路地域商工会振興協議会(会長 森長義)は、展示会、商談会の出展経験の浅い会員事業者を支援しようと平成29年から販路開拓支援事業に取り組んでおります。今年度は10月28日から10月30日の3日間インテックス大阪で開催された業務用食の総合専門展「ファベックス関西2020」に

淡路島内の会員企業6社で出展を行いました。南あわじ市商工会からは、ぬか酵素Sun燦が出展いたしました。コロナ禍の中での開催となりましたが、3日間で24,023名もの来場者数があり、今後商談成立に向けた取り組みを行っていきます。



青年部だより

ドライブインシアター in 慶野松原

11/3(土)、慶野松原駐車場においてドライブインシアター in 慶野松原を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なイベントが中止・延期になり、今後のイベントの再開の目途が立っていない状況下で、南あわじ市商工会青年部が企画し、南あわじ市や慶野松原花火大会の実行委員の方々にもご尽力いただきイベントを開催しました。今回のイベントでは慶野松原がロケ地となった星野源さん主演映画「引越し大名!」を上映し、実際の撮影地の風景をバックに映画を鑑賞していただきました。上映前には、「引越し大名!」の監督を務められた犬童一心監督をお招きし、トークショーを行い撮影秘話などを語っていただきました。イベント当日は約70台の車



守本市長挨拶



ドライブインシアター

が集まり、子供から大人まで幅広い年代の方々に、楽しんでいただきました。

**青年部員
募集中!!**

南あわじ市商工会青年部員を大募集しています。加入資格は、南あわじ市内に事業所を構える45歳以下の経営者またはその親族・従業員です。

女性部だより

ごあいさつ

女性部長
岡田美智子

平素は、南あわじ市商工会女性部の活動にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。今、この文章を書いている私の部屋には、商工会女性部の行事で生けたお正月用の生け花が置かれています。コロナに振り回されて落ち着かない日々、目前の正月を迎えている気分では無かった中、花を見ていると少し気持ちが和らぎました。

振り返りますと、提案公募型地区事業では、初めてのオンライン研修の実施。Googleマイビジネスへの取り組み等、アンケート結果より、時代に対応していくための前向きな意見をいただきました。また、地域貢献事業として「うずしおフェスティバル2020」への出展、その他、恒例事業の寄植、生け花講習など実施できました。コロナ対策として、少人数ずつ時間を分けて 花に触れることができ良かったと思います。

開催できる行事が少ない中、ご参加くださいました会員の皆様、ご協力賜り誠にありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

最後になりましたが、南あわじ市が勤めている「おもいやりポイント事業」はご存じでしょうか?参加するだけでなく、ポイント券を使えるお店として、ポイント券取扱店を随時募集中とのことです。詳細は、南あわじ市生涯活躍推進室にお問い合わせいただき、ぜひ取扱店に登録していただくなど、できることから協力していきたいと考えておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

8/26(水)

若手後継者育成事業(淡路地域会議所・商工会)

事業を未来に繋ぐオンラインセミナー

日時:8月26日(水)13時30分~15時
場所:オンライン配信(参加者の自宅・事業所等)

テーマ:これからの事業の在り方

「今」できる未来に向けたプロモーション活動

Googleマイビジネス個別指導

講師:コムサポートオフィス 今井ひろこ氏

参加者:35名(内、南あわじ市参加者10名)



11/14(土)

うずしおフェスティバル2020



日時:11月14日(土)10時~

場所:国立淡路青少年交流の家

内容:ちびっこフラワーアレンジメント体験 先着30名

参加者:10名

12/16(水)

寄せ植え講習

12/25(金)

生け花講習会



**女性部員
募集中!!**

お誘いあわせの上、
ぜひ女性部にご加入ください。
年会費3,000円

編集後記

この原稿を書く令和3年1月現在では第3波のコロナ禍において先行きに大変、不安な状況下で会員の多くの方々が心を悩ませているかと存じます。先日、今回の広報誌発行に向け南あわじ市守本市長と森商工会長との対談がありました。そもそも経営者とは孤独を感じており、心許して相談できる相手がいない事が多く、成り行きに任せる事が多いです。そんな時、今回の広報誌でも紹介しておりますがまずは商工会に相談する事です。商工会側には守秘義務があり、専門的知識を研修し、更に地域やもつと広い全国のデータも持つております。

経営者が前に進む時、まず相談相手として商工会を選ぶ事が自身の経験からしてもリスク少なく有益だと考えます。積極的なご活用をよろしくお願いたします。(沖)

広報委員

委員長

杉本 龍亮(西淡)

長尾 洋司(緑)

登 康行(西淡)

藤本 大輔(三原)

榎本 昌弘(三原)

沖 裕文(南淡)

川端 章弘(南淡)